

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全 学科 2年

単位数など : 必履修 2単位 (通年1コマ, 学習保証時間4.5時間)

担当教官 : 山田繁伸

授業の概要		
1年次に学んだ「国語」を基礎にして、より高度な総合国語力の養成を目指す。読む文章は、現代文だけでなく、古文・漢文なども読む。4つの活動「読む」「書く」「聞く」「話す」を通して総合的に学ぶ。また、読書感想文に関しては、郷土の先覚者についての書物を読み理解を深め、感想文を書いてもらう。		
到達目標		
大分高専目標 (A1) (C1), JABEE 目標(a)(f)		
(1) 現代文・古文・漢文を読み、豊かな教養・多様な文化を身につける。		
(2) さまざまな文章を読むことにより、物事に対する多面的な考えを自ら持てるようにする。		
(3) 感想文を書いたり、短歌・俳句を創作鑑賞したりすることによって、文章表現力を身につける。		
回	授 業 項 目	内 容
1	現代文 (随想)	「それぞれの羅針盤」佐伯一麦
2	現代文 (随想)	『『常識』の常識』中村桂子
3	古文	「児のそら寝」宇治拾遺物語
4	古文	「季武が従者、主の矢先をはづすこと」古今著聞集
5	古文	「亀山殿の水車」「仁和寺にある法師」徒然草
6	表現	スピーチ, 通知と手紙
7	前期中間試験	
8	前期中間試験の解答と解説	
9	現代文 (小説)	「とんかつ」三浦哲郎
10	現代文 (小説)	「清兵衛と瓢箪」志賀直哉
11	漢文 〔読書感想文を書こう〕	漢文に親しむ。(訓点のつけ方・格言を学ぶ) 読書感想文の書き方を学ぶ。 原稿用紙5枚に挑戦する。
12	漢文	故事を読み、漢文に親しむ。
13	漢文	漢詩を味わう。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	
16	現代文 (評論)	「言葉の風景」中西進
17	現代文 (評論)	「しゃぼん玉は丸い」安野光雅
18	古文	「丹波に出雲といふ所あり」徒然草 「奥山に、猫またといふものありて」徒然草
19	古文	「ゆく河の流れ」方丈記
20	古文	「折々のうた」万葉集, 古今集, 新古今集など
21	表現	話し合い, 調べたことの紹介
22	後期中間試験	
23	後期中間試験の解答と解説	
24	現代文 (詩) 〔短歌・俳句を作ろう〕	「道程」高村光太郎、「二十億光年の孤独」谷川俊太郎 短歌・俳句の基本的な作り方を学ぶ。 実際に、短歌・俳句を作ってみる。
25	現代文 (詩)	「シジミ」石垣りん
26	漢文	漢詩を味わう。
27	漢文	論語を読む。
28	漢文	史記を読む。
29	後期期末試験	
30	後期期末試験の解答と解説	
履修上の注意	教科書に準拠した課題ノートを毎時間使用する。学期末には、その課題ノートを提出してもらう。そして、それを総合評価に入れる。また、読書感想文と短歌・俳句の創作課題は、必ず提出すること。これらの課題も総合評価に入れる。	
教科書	『新編国語総合』小町谷照彦ほか, 東京書籍 『新編国語総合 学習課題ノート』東京書籍編集部編	
参考図書	『国語総合事典』大分県国語教育研究会	
関連科目	国語 (1年), 日本語表現法 (4年)	
評価方法	最終成績 = 0.8 × (4回の定期試験平均) + 0.1 × (課題ノート) + 0.1 × (読書感想文・短歌俳句の課題)	